

**製品名: カドヘリン 18 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07828**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	88kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CDH18
別名	CDH18; CDH14; Cadherin-18; Cadherin-14
遺伝子 ID	1016.0
SwissProt ID	Q13634
免疫原	抗血清はヒト CDH18 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 101-150

**背景**

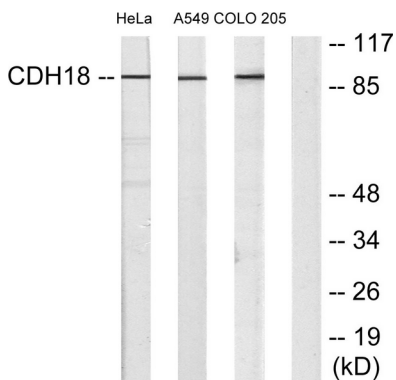
この遺伝子は、カルシウム依存性細胞間接着を媒介する膜貫通タンパク質のカドヘリンスーパーファミリーに属するタイプ II 古典的カドヘリンをコードしています。成熟カドヘリンタンパク質は、大きな N 末端細胞外ドメイン、単一の膜貫通ドメイン、および小さ

く高度に保存された C 末端細胞質ドメインで構成されています。タイプ II (非定型) カドヘリンは、タイプ I カドヘリンに特異的な HAV 細胞接着認識配列を欠くことで定義されます。この特定のカドヘリンは中枢神経系で特異的に発現し、シナプス接着、軸索伸展および誘導に関与していると考えられています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2014 年 5 月]、機能: カドヘリンはカルシウム依存性細胞接着タンパク質です。細胞同士を接着する際に、カドヘリンは優先的に同種親和的に相互作用します。このように、カドヘリンは異種の細胞タイプの選別に寄与する可能性がある。類似性:5つのカドヘリンドメインを含む。、

## 研究分野

アドヘレンス・ジャンクション

## 画像データ



CDH18 抗体を用いた HeLa 細胞、A549 細胞、および COLO205 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



カドヘリン 18 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析